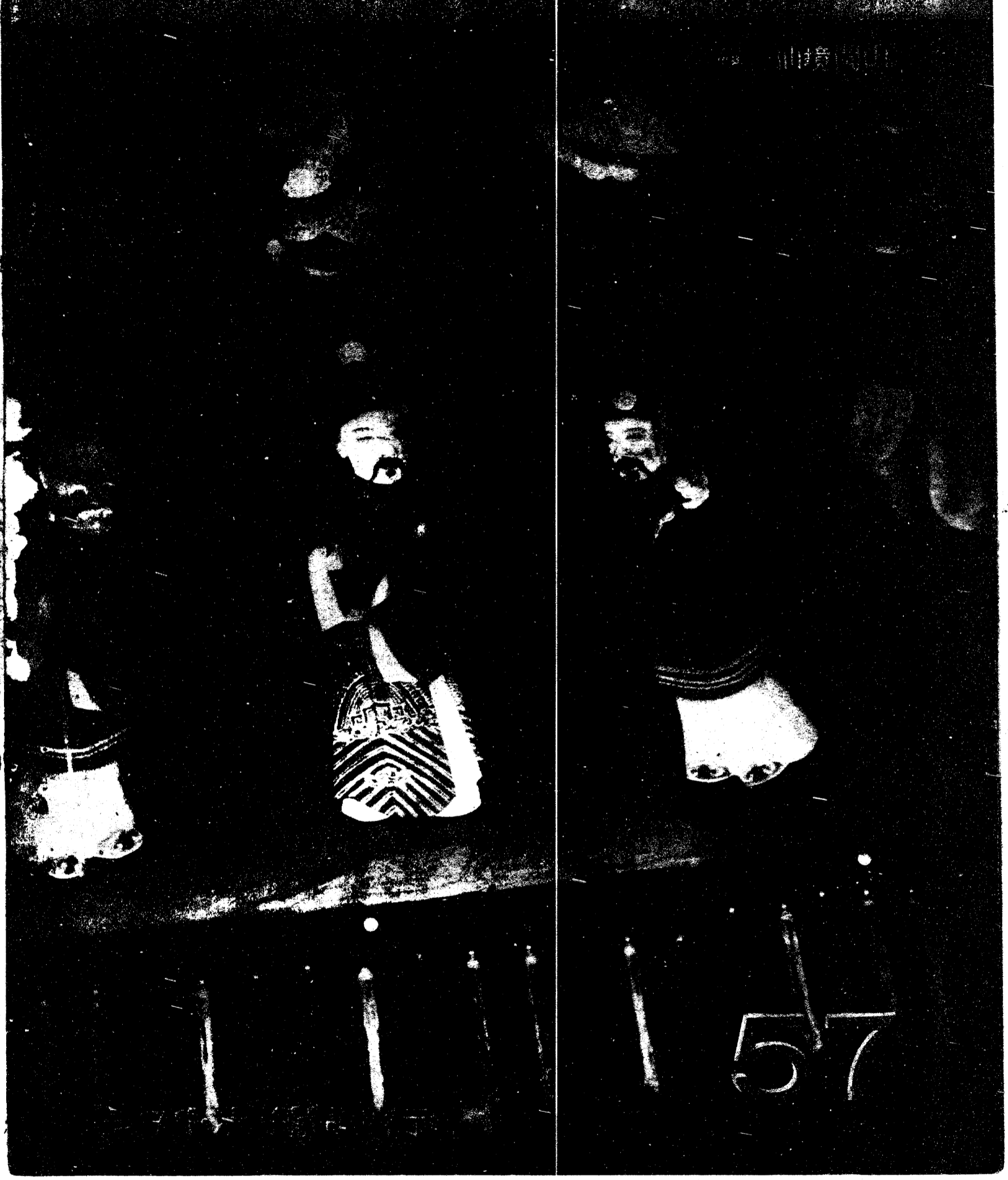


MANCHURIA—GRAPH. APRIL 1939. VOL.VII NO.4

滿洲の今

山境山



25X

32X

Stretching 60 kilometres from Fuhsin-hsien in the north to Chin-hsien in the south, and towering to a height of over 600 metres above sea level, this mountain range, which consists mostly of granite and basalt, looks nobly down upon the vast level plains of Manchuria. It is situated 120 kilometres to the north of the Koupangtzu Station, on the Mukden-Shanhaikwan Railway, and occupies an area of about 2,880 square kilometres.

Lushan seems to be a very old mountain range, and the formation of the undulating strata, which are black and dark brown in color, is clearly visible on the mountain sides. Huge rocks of diverse shapes, battered by natural elements, are found protruding at many places on the sides of the mountains, which abound in scenic spots. What is more interesting, the Lushan Range was known as early as in the days of Emperor Chun, in the dim and ancient past, and is also associated with tragic tales and legends of Emperor Tung Tan of the Liao dynasty, which arose about 1,000 years ago. In ancient times it was frequented by men of letters and calligraphers, and there remain historical vestiges reminiscent of the days of yore.

The most famous mountains in the Lushan Range are Mt. Wanghai (altitude 879 metres), Mt. Chienchiachai (628 metres), Mt. Taluhua (601 metres), Mt. Kulung (607 metres), Mt. Chikuan (627 metres), and Mt. Tachaoyang (427 metres), which are collectively known as the Lushan Liufeng or the Six Mountains of Lushan.



寶林樓……漢代の創建にかゝり、當時は單に樓と呼ばれてゐたが、唐代になつて、例の尉遲恭の子、尉遲寶林の名になつて寶林樓と命名されたといふ。

大盧花……恐らくは蒙古語のイオラオホア（大遼の崗）に漢音をあてはめたものに違ひないと思はれるが、郷老の間には山頂の雲巖寺（海雲觀の前身）が兵火で灰燼に歸した時、堂下の盧草だけは青々と生えてゐたので、靈驗あらたなりと云ふので大盧花と名付けられたと云はれてゐる。

巖井……大關の老觀音の下に四尺平方位の横穴がある。奥はどこまで續いてゐるか見當がつかないが、常に風が吹き出てくる、それが巖井と云はれてゐる。

石佛堡……開山の西南に石佛堡なる部落がある。昔洪水の際に石佛が流着したがために、かゝる名ありと云ふ。その石佛は現在では金色に彩色されてゐる。

翠雲岬……北鎮廟の後庭にあり、一名窟窿山とも謂はれる。高さ七米横十米、厚さ二米の大岩であるが下部の穴をくぐると一生腰痛をやまぬとか子供を授けられると云はれてゐる。

大石湖の瀧



25 X 41.5

32 X 41.1



SCENIC LIPS

仙境閩山

閩山より閩山大觀

傳説の閩山

仙境閩山——正しくは醫巫閩山——を要約すれば一天險と秀峰に包まれた千古の神祕と數百年の傳説を誇る幾十の寺觀に秘められた「謎」と云ふ事が出来る。従つて、古蹟の閩山、信仰の閩山、觀光の閩山……と云ふ具合に、あらゆる角度から興味ある問題を現代文明に投げかけてゐるが、閩山の各所に流布してゐる傳説の蒐集も閩山を知る一助とならう。

石門子の傳説……石門子は上資林と資林樓の中間にあつて、高さ百八十米の左岩と、百米に余る右岩とで、間口六十米、奥行五百米の廣大な石門を形成してゐるもので、次の様な傳説が傳はつてゐる。

唐の尉遲恭が或る戦に手兵を率ゐて此の地點に達した時、此の山が障害となつて兵は一步も前進する事が出来なかつた。其の時彼は兵の不甲斐なさに怒髪天を衝き「遠からんものは吾に聞け、近くは寄つて目にも見よ」と許りに、一氣に馬を馳つて此の岩山を打ち割つて通路を造つたと謂ふ。

馬蹄石……此の石門子の左下に長さ二十米、高さ十米、幅三米位の巨大な石が一個左壁から分離してゐる。此れは「馬蹄石」と呼ばれるもので、尉遲恭が最初に馬蹄で蹴落した石なりといふ。成程、石面には四つの馬蹄痕が残つてゐる。然しその大きさは約一米四方大のものである所を見ると、彼の馬がいかに大きいものであつたか！

拳倒井……馬蹄石から約十丁許り資林樓に向つて進むと左側に「拳倒井」なる井戸がある。畧圓形に近い六角の口で、石を數十層に疊込み、水は約六尺の下にあるが、下部は右折して路の下へ向つてゐる。此れは尉遲恭が石門子を蹴破つて、此處に辿りついで、愛馬に水を飲ませ様と思つたが、井戸は深くて叶はず、そこで大力を以て井水を傾けて飲ませた。それで此の井戸は傾いたといふ。

資林樓……漢代の創建にかゝり、當時は單に樓と呼ばれてゐたが、唐代になつて、例の尉遲恭の子、尉遲資林の名にちなんで資林樓と命名されたといふ。

大盧花……恐らくは蒙古語のイオラオホア（大遼の崗）に漢音をあてはめたものに違ひないと思はれるが、禰老の間に山頂の雲巖寺（海雲觀の前身）が兵火で灰燼に歸した時、堂下の盧草だけは青々と生えてゐたので、靈驗あらたなりと云ふので大盧花と名付けられたと云はれてゐる。

井……大關の老觀音の下に四尺平方位の横穴がある。奥はどこまで續いてゐるか見當がつかないが、常に風が吹き出てくる、それで「風井」と云はれてゐる。

石佛堡……閩山の西南に石佛堡なる部落がある。昔洪水の際に石佛が流着したがために、かゝる名ありと云ふ。その石佛は現在では金色に彩色されてゐる。

翠雲峰……北鎮廟の後庭にあり、一名窟窿山とも謂はれる。高さ七米横十米、厚三米の天石で、下部の穴をくぐると、一室を築

龍巖山(六二七米)龍巖山(六二七米)及び大朝陽山(四七二米)の所謂四山六峰が雲表高く聳え、處々に翠巒松柏が亭々と樹立してゐるため、四季を通じて何時如何なるコースを辿るも觀光地としての四山は満洲隨一と稱して過言ではない。即ち春の梨花は白雪、紅葉を生じて四山を包んで緩やかに中腹まで立ちこめ、夏の新緑、秋の紅葉は色鮮やかに全身を彩り、冬は赤清々しき白衣の淨山とな

鶴、蘭、和尚、月等がぎざぎざとある。此の岩壁を洗ふ溪流は青龍泉と呼ばれ、冬は數尺も凍結してゐるが、夏ともなれば綠葉を底下に映し、銀鱗鮮かな小魚の數も數えられる程澄み切つてゐる。

雙泉寺は乾隆三年九月の創建にかゝらしく「摩天石」と稱する一大奇岩を背景に松柏に剛まれてゐる。寺名の起源をなす二つの泉は昔日の面影は全くなく、今は舊い溜水に過ぎず、此れを圍む花崗岩も寂び果て、往時の盛時をかこつてゐるが、本殿と上院には素晴らしい大釋迦佛と大勢至菩薩を祀つてゐる。其の他龍潭宮、大平寺、金山寺、玉龍寺等の名刹が各所に散在してゐる。

多くを並べたが以上は未だ四山の序論にか過ぎないとも云へる。仙境四山には滿天下の旅行家を呆然たらしめ、瞳目せしめるに足る二大奇勝、八大景勝と稱せられるものがある。二大奇勝とは南石門子と大石湖の瀑布である。

南石門子とは上寶林部落と寶林樓との間に横はる玄武岩の大山脈が頂上から麓迄何か黒蛇の背部を鋭利な名刀でスパツと切り取つた様に垂直に切り開かれて一大石門状を呈してゐるのである。高さは左岩百八十米、右岩百米、間口六十米、奥行五百米の岩門である。四山には石門子なる地名は處々にあるが、南石門子は規模の雄大形態の奇抜な點に於ては全く其の比を見ないものである。勿論これは何等人工のない全くの天然物で恐らくは有史以前の作品であらう。

の情をせむく、滿腔の不平を抱いて四山に遁世しようと思つて、萬巻の書を携へて四山第一峰望海山に登つた。そこで彼は望海堂をきつき、日夜讀書三昧に専念して此の鬱憤を晴らさうとしたが所詮熱血に五體のたぎる彼には割れ切れぬ問題であつた。そこで再度意を決して天顯五年部下若干と海を越えて唐に渡つた。そこで姓名を李贊華と改めて、一旗擧げんとしたのであるが此れも果せず、天

々たる水音の響くを聞く。そ、りたつ數百丈の岩山が四方から身近く迫つてゐる所に東南隅の岩頂を破つて流れ落ちてゐる巨瀧がある。高さ六十五米、巾十五米落口は十五米半徑の円を造つて、岩頂の二つの懸崖池には瀟々と清水が溢れてゐる。此れが四山二大奇勝の隨一として擧げられる大石湖の瀑布である。

- 次いで四山八大景勝とは
- 一 海雲觀東下院より大蓮花に至る景色
 - 二 接待寺下院より望海山を望む眺望
 - 三 慶雲宮大凌河の眺望
 - 四 二道溝より見たる望海山
 - 五 吳家屯より眺めた望海山
 - 六 窟窿山林寺寺領よりの展望
 - 七 望海山より見たる醫巫闔山山脈大觀
 - 八 小常屯より北鎮廟、大開、望海山を夫々前景、中景、遠景とする展望を指す

面して此處に擧げた八景なるものは、單に「價値ある景色展望」と云ふ條件のみならず、それに「スケールの並ばづれば大きい」と云ふ條件を附加したもので、其處此處に見え出される奇勝とか景勝とかに類するものなら隨所に見られるのである。

海雲觀下院より見上げると、松柏、山ナラシ、雜木の向ふに萬仞の岩山よりなる大蓮花が殆んど垂直にそ、り立ちその上には寶林樓を思はせる様な彩色、構想の素晴らしい古廟が古城の様に立つてゐる。岩下には瀧す深流がほどどばり、枝ぶりの良い松が所せましと許りに葉をひろげてゐる。實に堂々たる展望である。

接待寺も内地趣味の滿溢してゐる美景である。下院より見上げると大蓮花と稱つづきの望海山が巖然と聳え、廣大な景観を呈してゐる。下院より望海山の中腹にある上院迄は僅に八軒に余るけれども千變萬化の地形は少しも退屈

と倦意を感ぜしめないのみか、此處が滿洲かと錯覚を起したくなる。

慶雲宮にそれより見下した大凌河の展望も前二者に比して決して遜色はない。四山隨一の裕福な寺だと言はれるだけであつて丹念に修理された寺廟は數百年の荒風を受けたとは思はず立派に舊態を保存し、金にあかして造つたと思はれる調度は典雅な芳香を放ち、岩石のくぼみを利用して造られた上院の窓や入口をのぞかせてゐるあたりは、岩石一杯に這つてゐる葛蔓と相待つて堂々たる一個の藝術をなしてゐる。尙附近には慶雲宮十景なる美景も散在し、遠く大凌河は雲下にかすんで見える。

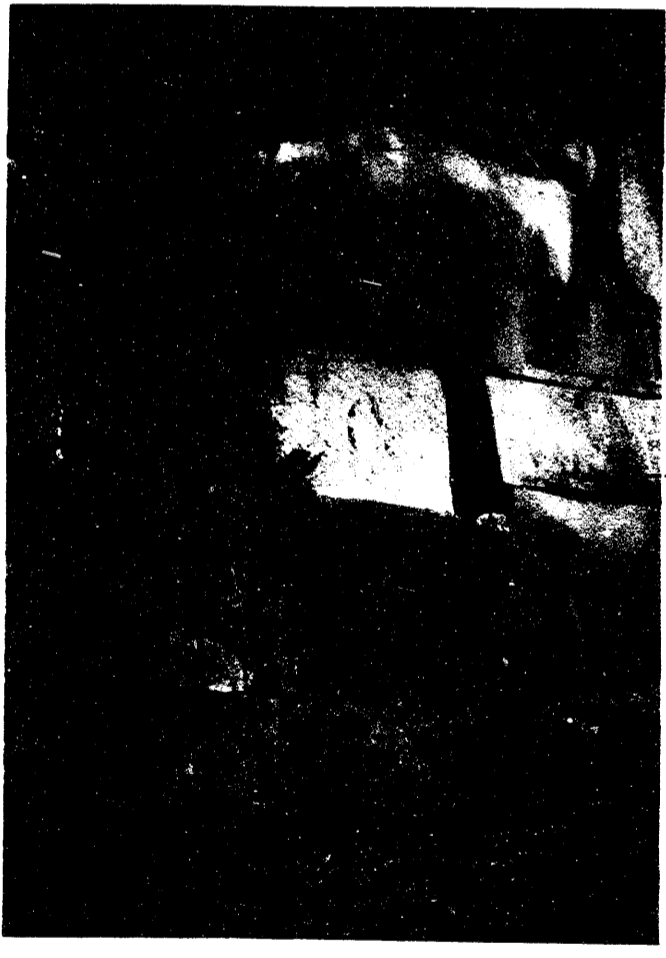
標高八百七十九米、四山の望海山か、望海山の四山かと云はれる望海山は其れだけでも素晴らしい存在である。「山高きを以て貴しとせず」と人或は云ふが巒者たる望海あり、百花咲き香るお花畑あり、溪水の無い雄は奇

あり本殿に「王清之始天尊」一「上清靈寶天尊」一「奉清道徳天尊」一の三體を祀り、斗母宮には時、日、月、年の諸神を安置してゐる。更に後方の岩壁上の「三仙洞」には三仙を祀る外、道士の修業場となつてゐる。

此處より縁樹奇岩を楽しみ乍ら下る事十數分て山麓の下院に達する。下院の入口ともいふべき大岩壁には朱筆で「青龍泉」「大朝陽」「三清觀」の文字が達筆に彫られ、傍には鹿、

巖削壁が充分之を捕ふ、それに加ふるに東丹王の哀話が吹く風に遠い昔を語る、やつぱり望海山の四山だ。十重、二十重に取りかこむ連山の上に超然として聳える雄大の美を構成するが、トラツクに乗つてこれを眺望する時は此が急テンポに變化する。トラツクが山から離れるに従つて各山は一枚の屏風の如く密集し、山間の各間隔はすばらしく美しい藝術的な線となり、トラツクの動揺と共に何か神秘的な動物が呼吸する如く上下する。此こそ山の展望としては四山隨一の白眉であらう。

角度を變へて山頂よりの展望を見れば望海山頂と窟窿山があげられる。阜新、朝陽、錦、義、北鎮の五縣が目下からすばらしい。こんな男性的な展望は一寸外では見られない。最後に北鎮廟、大開、望海山を連ねる一線は堂々二十軒に近い廣範圍の眺望なれば山あり、川あり、木あり、草あり、廟ありて筆舌を絶する壯觀である。





樂土滿洲と新生北支とを結ぶ陸の重要ルート奉山線を、一路西へ——奉天から一七二杆の地點、溝帯子。名物の梨と饅頭の丸焼が旅客の無聊を車窓に慰める。

此の溝帯子の北方、遙か眼界に入る地平線一帯を覆うて、蜿蜒と横たはる山脈がある。未だ文化のいぶきに觸れない謎と神祕の幽遠境である。

これが関山——詳しくは醫巫閏山で錦州省の畧々中央部を北から南へと走り、彰武、阜新、北鎮、義、錦の五縣に跨つてゐる大山脈である。

山は殆んど全山花崗岩と玄武岩とからなつてゐるが、老年期の山脈らしく、無茶苦茶に褶曲を蒙つた断層が黒く青く、又は茶褐色に、思ひ切り大膽に露出してゐる。その上に、多年の風化雨蝕を受けた奇岩怪石が亂立して、隨所に絶景奇勝を點景してゐる。

標高八百七十九米の望海山を最高峰として、千家寨山（六二八米）、大盧花山（六〇一米）窟窿山（六〇七米）、鷓鴣山（六二七米）及び大朝陽山（四七二米）の所謂関山六峰が雲表高く聳え、處々に翠巒松栢が亭々と樹立してゐるため、四季を通じて何時如何なるコースを辿るも觀光地としての関山は滿洲唯一と稱して過言ではない。即ち春の梨花は白雲、紅葉を生じて関山々麓を包んで緩やかに中腹まで立ちこめ、夏の新緑、秋の紅葉は色鮮やかに全山を彩り、冬は亦清々しき白衣の淨山とな

鶴、蘭、和尙、月等がぎざぎざされてゐる。此の岩壁を洗ふ溪流は青龍泉と呼ばれ、冬は數尺も凍結してゐるが、夏ともなれば雑草を底下に映し、銀鱗鮮かな小魚の數も數えられる程澄み切つてゐる。

つて絶佳の大景観と化するのだ。

関山の歴史的名聲は極めて古い。遠く帝舜の時代に、此を人格視して幽州の鎮に封じたのが始まりで、其の後今より千三百四十二年

前、隨の開皇十四年に詔を以て「北鎮」と呼び、唐の天寶十年に「廣寧王」と加封され、更に明の洪武年間「神」に改稱され、其の後歴代の王朝は年々祭告を行つて今日に至つたといふのであるが、此の長い歴史中特に興味あるエピソードは遼の東丹王の哀話である。

今より約千年前、渤海の滅亡とともに遼が此の滿洲の地に建國した。遼は契丹族の建てた國家で其の始祖は耶律阿保機と云つた。英武剛毅な王も建國後幾何もなくして奇る年波に耐へかねて病歿した。すると、に後継者の問題が起つて来た。それは王に長子人皇王托雲と次子徳光の二人があつたが、母徳律皇后は弟の徳光を偏愛するのあまり、托雲に追つて讓を余儀なくせしめた。托雲は関々不満の情やせなく、滿腔の不平を抱いて関山に遁世しようとして決心して、萬巻の書を携へて関山第一峰望海山に登つた。そこで彼は望海堂をきづき、日夜讀書三昧に専念して此の鬱憤を晴らさうとしたが所詮熱血に五體のたぎる彼には割り切れぬ問題であつた。そこで再度意を決して天顯五年部下若干と海を越えて唐に渡つた。そこで姓名を李贊華と改めて、一旅擧げんとしたのだが此れも果さず、天

々たる水音の響くを聞く。そ、りたつ數百丈の岩山が四方から身近く迫つてゐる所に東南隅の岩頂を破つて流れ落ちる巨瀧がある。高さ六十五米、巾十五米落口は十五米半徑の円を造つて、岩頂の二つの風竈地には瀟々

福元年後唐の亡ぶ時遂に非命に斃れたのである。

後、人皇王の子が遼朝三代の皇帝世宗となるや、父の人皇王の遺骨を得て此の地に葬り墳墓を築き顯陵と稱し、讓國皇帝と諡し、又義宗と尊びて祭祀を行ひ、大いに生前不遇であつた父王の幽魂を慰め、追慕の至情を披瀝した。其の後連綿として人皇王の子孫が帝位を繼承した。そして遼朝歴代の皇帝は幾々この山陵に親謁し、帝に祭祀を怠る事がなかつたが、金の勃興により天祚帝が天會六年（八百年前）其の配所に崩するや遼朝は九代、二百年を以て遂に滅び、その祭も永しへに絶へた。陵前の琉璃寺は東丹王を祀つた寺であるが、今は昔日の面影もなくただ僅かに朽ち果てた石壁を止めてゐるだけで訪ね来る人々の涙をそそつてゐる。

哀史に彩られた仙境関山は、聖泉と清霧に富んだ絶景と相対して俗塵を避ける佛徒道士のこよなき修道地となつたものであらう。遠く漢代の作になる寶林樓を始め清宮、白蠟寺、玉泉寺、三清觀（大朝陽寺）雙泉寺、接待寺、慶雲宮、太平寺、金山寺、玉龍寺等の名刹古廟が數百年の傳統と謎を秘めてゐる。寶林樓は関山最古の名刹である。人里遠く離れた深山幽谷の地に數百丈の岩山の洞窟を巧みに利用して白い煉瓦を五層にはめ込んで造つた堂々たる高樓で、その各層には精巧な佛像を五十体以上安置してゐる。前面の梨園を通じて見る全景は丹綠の繪具と白煉瓦を配した妙趣は宛ら西洋中世のロマンスによく出る古城の面影を髮鬚させる。聖清宮西下院接待寺、海雲觀、圓通觀とともに四大古廟と稱せられるもので、創建は明時代と傳へられ、伽藍の規模の宏大なる事四大古廟唯一である。上院は峻峻な老爺嶺山頂にあつて、東下院は更に四軒離れた山向ふにある。その昔大王梁の出家した所と傳へられ、東西兩下院間の八

料の里程は山あり、川あり、樹あり、草あつて絶好な觀光コースである。

白蠟寺は名の示す如く松林と背後の百丈に余る花崗岩との間に白城の様に美しく輝いてゐる廟で、滿人間には普通白蠟子、白い石礫の上にある寺の意）と呼ばれてゐる。正しくは雲集宮であるが、正にその通りの雲表の高峰上に鎮座してゐて、此處からは大凌河を一望の下に收め得る景勝地である。釋迦と蝦々々と祀り、廟の兩側に測り知れない奥行をもつ岩窟がある。

關通觀は明代の創建で、標高六百二十八米の千家寨山の上院が立つてゐる。天宮、水宮、地宮の三宮を祀る一廟だけではあるが、山形、跋涉、景觀に男性的な登山慾を滿喫し得る點に於て関山山中望海山と双壁をなしてゐる。下院の左脇より院の後方に聳え立つ山容を望みつ、登る口徑には葦木茂り、奇岩錯出し、内地の山路を行くの感がある。溪水の缺は奇岩削壁により充分補はれ、中腹邊に「巨人岩」「蛙石」と名付けられてゐる奇岩があつて、夫々人顔、蛙に似てゐる。

玉泉寺は内地趣味の滿溢した山茶水明の地に位し、創建年代は不明であるが、萬曆、雍正、乾隆の三回の重修を見、祭神は釋迦如來である。神殿の後には此の寺名の起源となつた玉泉が滾々と湧いて居り、その西隅に壁立してゐる岩面には達摩佛や關羽の素晴らしい彫刻が時代の藝術を誇示してゐる。

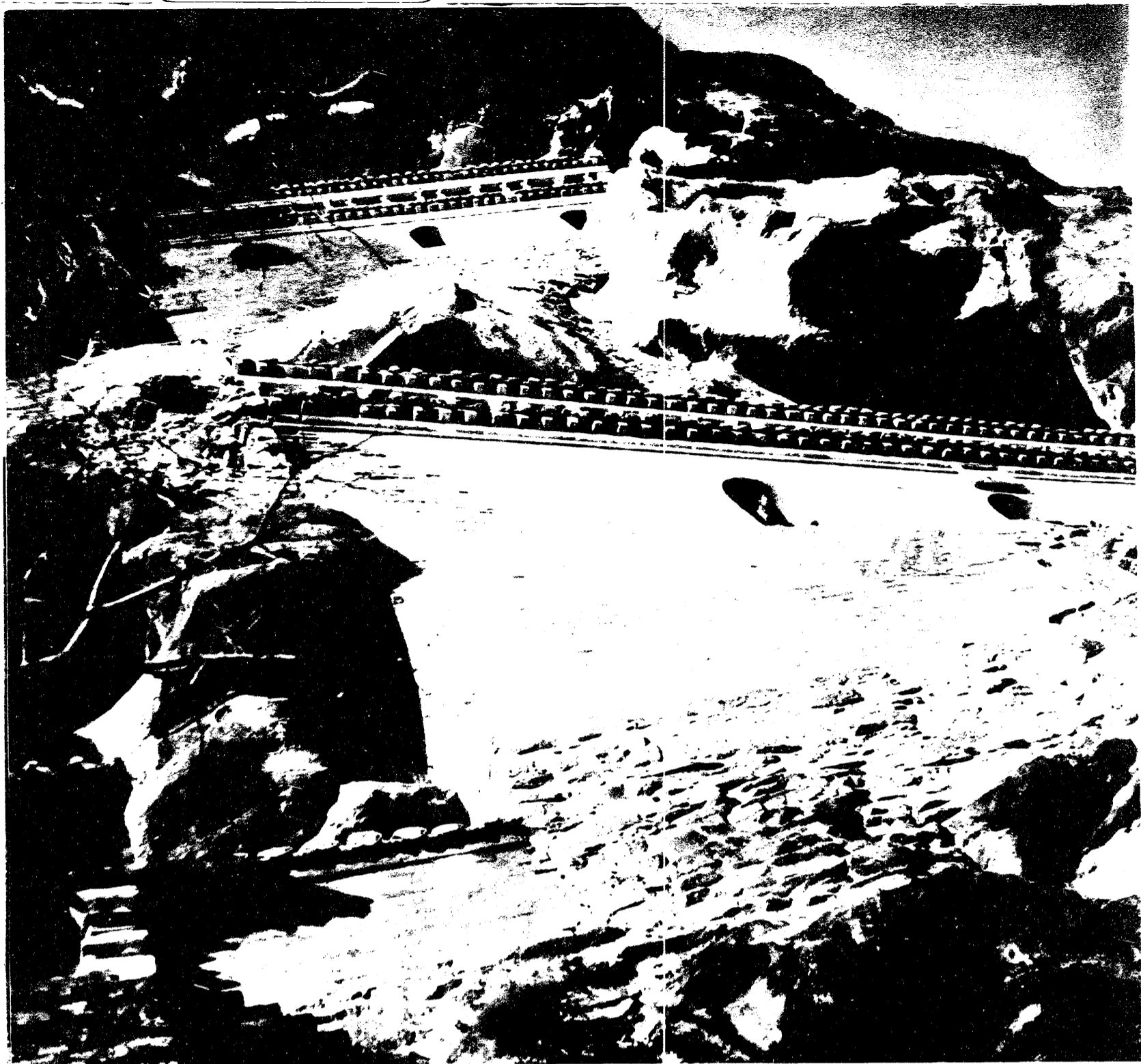
三清觀は標高四百七十一米の大朝陽山頂にあり本殿に「玉清之始天尊」「上清靈寶天尊」「泰清道德天尊」の三體を祀り、斗母宮には時、日、月、年の諸神を安置してゐる。更に後方の岩壁上の「三仙洞」には三仙を祀る外、道士の修業場となつてゐる。

此處より綠樹奇岩を樂しみ乍ら下る事十數分て山麓の下院に達する。下院の入口ともいふべき大岩壁には朱筆で「青龍泉」「大朝陽」「三清觀」の文字が達筆に彫られ、傍には鹿、

巖削壁が充分之を補ふ、それに加ふるに東丹王の哀話が吹く風に遠い昔を語る、やつぱり望海山の関山だ。十重、二十重に取りかこむ連山の上に超然として聳える雄大の美を構成するが、トラックに乗つてこれを眺望する時

と偉意を感じしめないのみか、此處が滿洲かと錯覚を起したくなる。

慶雲宮並にそれより見下した大凌河の展望も前二者に比して決して遜色はない。関山麓一の宿福寺だと云はれるだけあつて丹念に



寶林樓



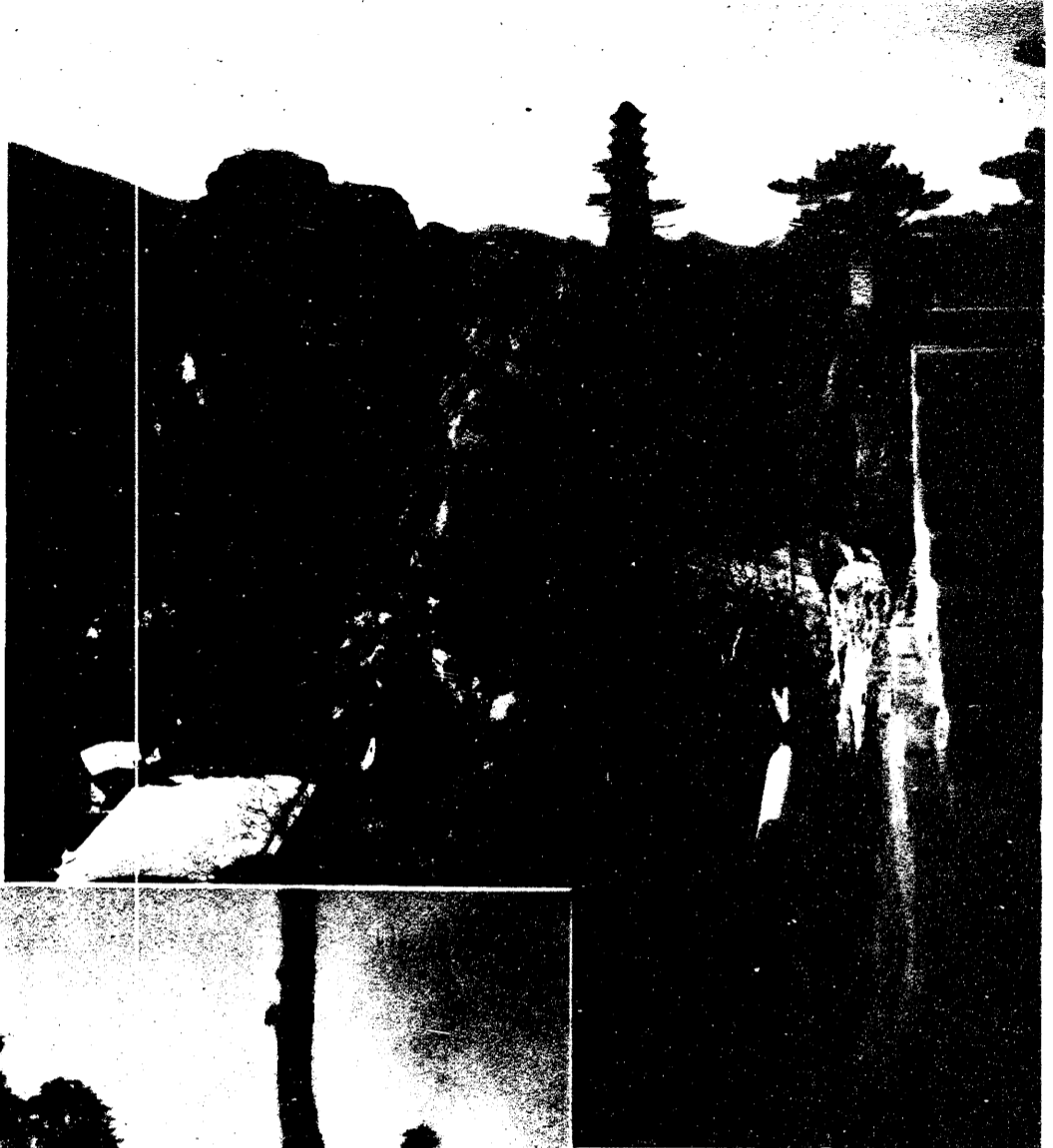
受
主
宮



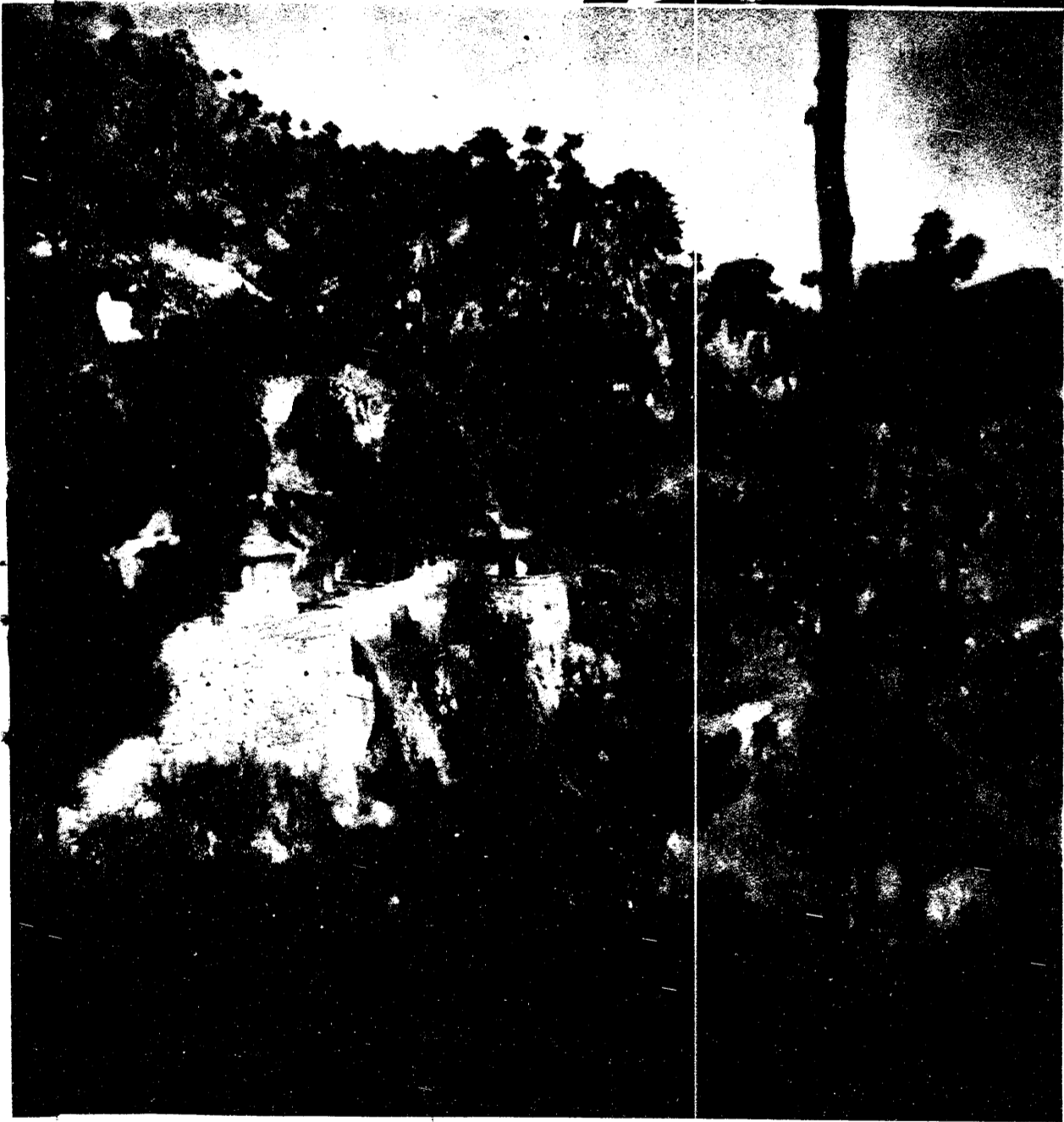
TEMPLES AND SHRINES IN LUSHAN



寶林樓



海雲觀上院



海雲觀下院より見た大蘆花

寺廟と景觀

五家屯よりの望海山

5

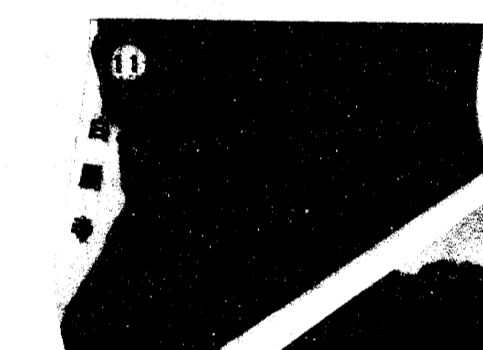
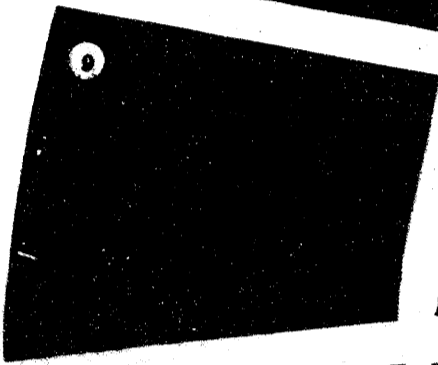
望海山

6

7

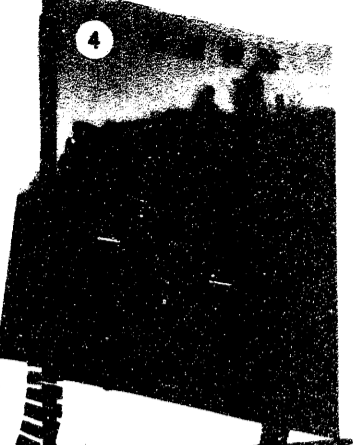
8

9



4

3



大 濛 河

白石埠

五家屯

五家屯

小 濛 河

大 濛 河

石 埠 埠

旧 站

王 家 屯

王 家 屯

王 家 屯

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

石 埠 埠

25x10

32x10

の望海山

4

3

2

2

2

佳元

至北鎮縣城

1

1

8

5

6

7

2

1

1

20

20

20

19

19

○	■	▲	△	卍	⋯	川
村	踏石	山	岑	寺	古	溝

15

16

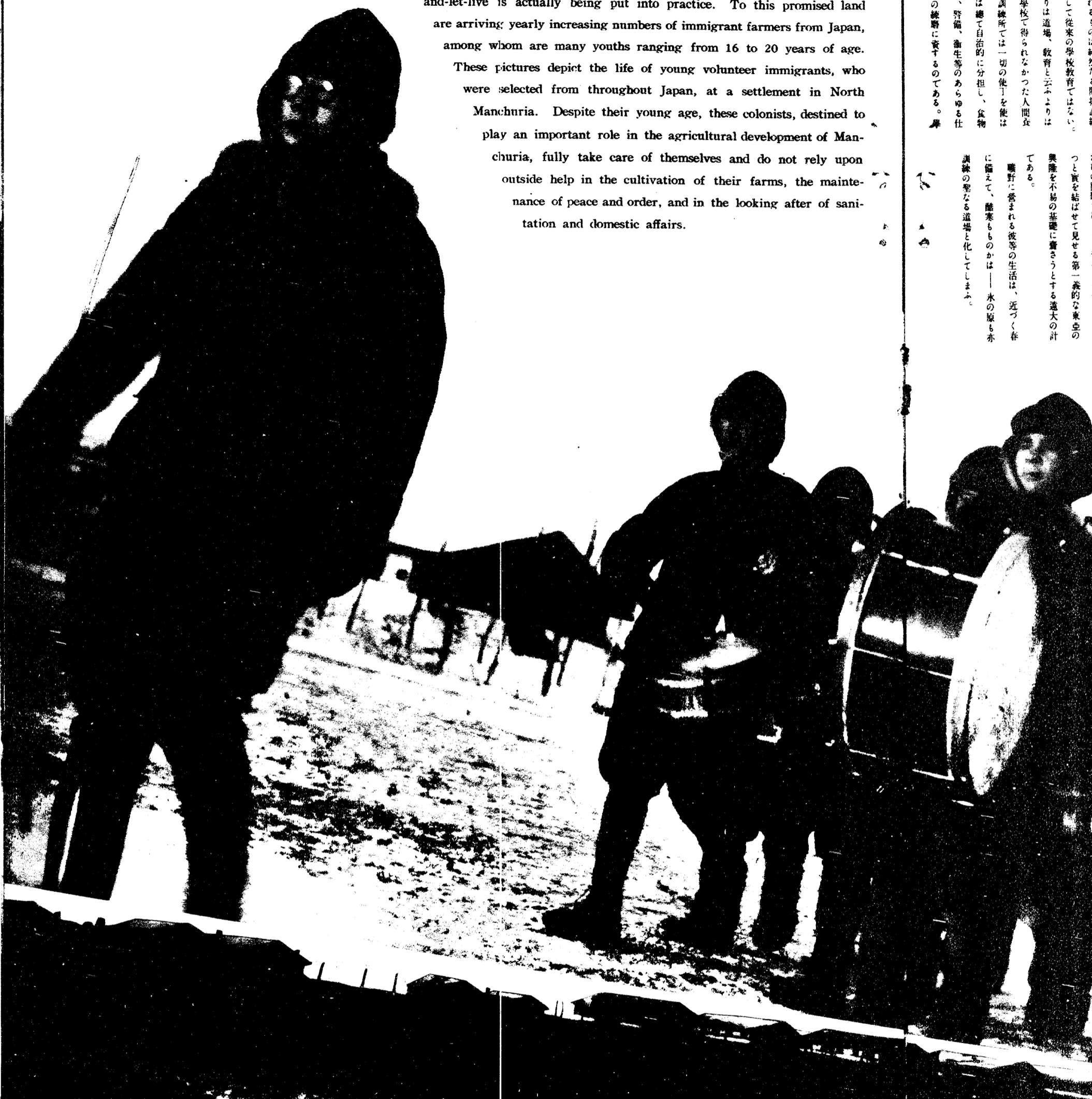
17

18

THE LIFE OF VOLUNTEER YOUTH IMMIGRANTS

To those who desire to lead a clean and honest life, Manchoukuo is an earthly paradise, where there is no racial prejudice and the principle of live-and-let-live is actually being put into practice. To this promised land are arriving yearly increasing numbers of immigrant farmers from Japan, among whom are many youths ranging from 16 to 20 years of age.

These pictures depict the life of young volunteer immigrants, who were selected from throughout Japan, at a settlement in North Manchuria. Despite their young age, these colonists, destined to play an important role in the agricultural development of Manchuria, fully take care of themselves and do not rely upon outside help in the cultivation of their farms, the maintenance of peace and order, and in the looking after of sanitation and domestic affairs.



こゝへ行はれるものは純然たる開拓訓練であつた、決して従来の學校教育ではない。學校と云ふよりは道場、教育と云ふよりは訓練であり、學校で得られなかつた人間性成が眼目だ、訓練所では一切の使丁を使はず、日常生活は總て自治的に分担し、食物も自ら調理し、警備、衛生等のあらゆる仕事を通じて魂の練磨に資するのである。摩

だけの問題ではない。幾年かの後には、きつと實を結ばせて見せる第一義的な東亞の興隆を不易の基礎に實さうとする遠大の計である。
曠野に營まれる彼等の生活は、近づく春に備えて、酷寒ものかは——水の原も亦訓練の聖なる道場と化してしまふ。

25x □ □ 32x □ □

近づく春に備へて

滿蒙開拓青少年義勇軍の生活



滿蒙開拓青少年義勇軍の烽火があげられたから、未だ一箇年余を経過したに過ぎない。しかも開拓計畫五百万大陸移住の重要な一翼を擔つて、十箇年百五十万を目標に、若人の渡洋大行進はすでに歩調を整えた。北は北海道、南は沖縄、全日本から蔚然として集つた三萬に近い青少年は、今依然と大陸の一端に力強い根を下してゐる。

天城縣内原の訓練所で二箇月の内地訓練を受けた選ばれた若人達は、更に嫩江、寧安、肇慶、勃利、孫吳等の各地で二箇年間の現地訓練を受けつゝある。

こゝで行はれるものは純然たる開拓訓練であつた、決して従来の學校教育ではない。學校と云ふよりは道場、教育と云ふよりは訓練であり、學校で得られなかつた人間育成が眼目だ。訓練所では一切の使丁を使はず、日常生活は總て自治的に分担し、食物も自ら調理し、警備、衛生等のあらゆる仕事を通じて魂の練磨に資するのである。

科も、農耕も、武道も、歸一するところは日本精神の養成であり、皇國國民魂の陶冶である。こゝで培はれた青少年の焔々として輝く眼底には、皎し輝く祖國の光が宿つてゐる。

二箇年の現地訓練が終了すると、農業集團開拓民に編入され、それと同時に、十町の耕地をもつて獨立農業者となることを保證され、滿蒙開拓の聖業に挺身、定着することを原則としてゐる。

義勇軍訓練は單に過剩人口の解決とか、學校卒業生の職業指導と云ふやうな目先のだけの問題ではない。幾年かの後には、きつと實を結ばせて見せる第一義的な東亞の興隆を不易の基礎に齎さうとする遠大の計である。

曠野に營まれる彼等の生活は、近づく春に備へて、防寒もものは——水の原も亦訓練の聖なる道場と化してしまふ。

RANTS

Manchoukuo is an principle of live- s promised land ners from Japan, 0 years of age. mmigrants, who ement in North ists, destined to opment of Man- not rely upon ns, the mainte- g after of sani-

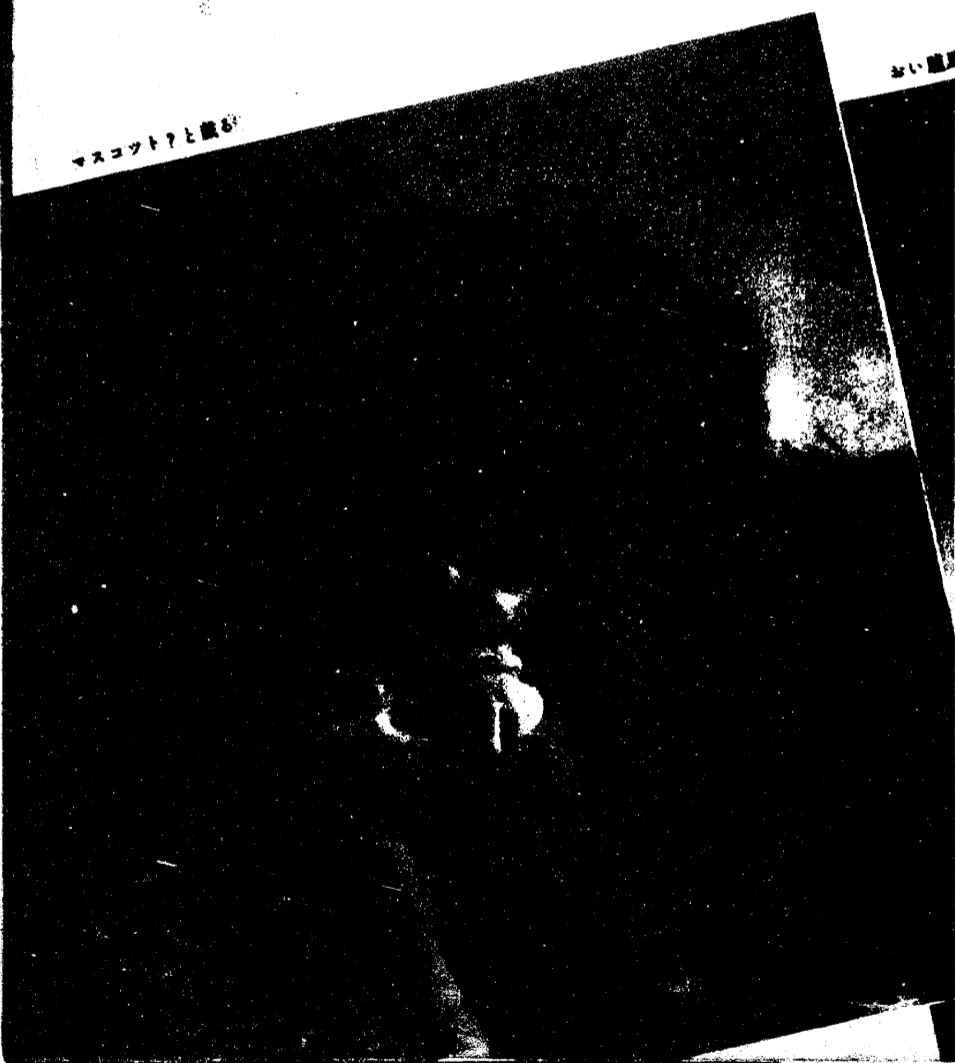
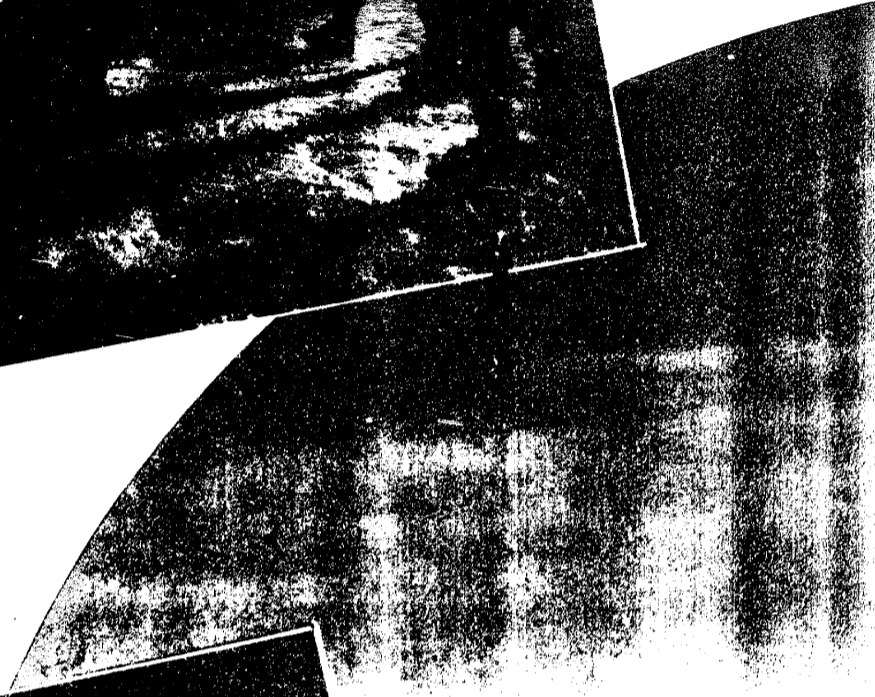
僕ら益々元気です



さあ、行くぞ!



氷滑りや氷走り



マスコット? と偽る?



おい 龍野公ハイキングだ

25x

32x

承い船しい郷上からの健り



本部からの物資を積んで



氷滑りや水走りさ



和やかな夜のひと時



激動袋が着いたよ

NEW Y

の下の、日本の軍閥生活は是迄といたるの如
國運を危ぶむ者等は先づに願いてお
る。六ヶ月の訓練期間を終へると、直ちにそ
れを郷里に歸つて、新青年運動の指導者とな
り、各地に青年團を結成し、やがてはナチ
ス・ドイツのヒットラー・ユーゲントを大陸
支那に再現しやうとする。東亞青年會の大
同結成を促進する力強い第一歩である。

New eras
It is the youth
tomorrow, alone ca
and oppression of
a new nation, f
The Great
tute has been r
implies, it train
the work of nati
men are at pres
ceiving strict tra
training, they r
young men's org
under the sloga



明日の支那を背負ふ

新青年

NEW YOUTH MOVEMENT LAUNCHED IN CHINA

上海！そこでは人と物と金が、戦の跡にこつたがえてゐる。高く響く新生支那建設議の中にも、之と摩擦するテロの横行が無自覚支那を暴露する。暗躍する赤、スパイ、陰謀——だがそれも、興亞の大理想に燃え上つた力強い胎動を、如何ともすることは出来まい。

上海北停車場からタクシーを騙つて、茫茫と江南の新戰場を往くこと十分ばかり、江洲停車場の前に堂々たる赤煉瓦の建物がある。

一大上海青年幹部訓練所——の新しい看板がかけられてゐる。これこそ、「新生支那の建設は我等の手で——の氣概に燃えて、「防共——隣邦被害——東亞和平の確立」を旗幟に、敗戦支那の焦土の中から立ち上つた新青年運動の殿堂であり、維新政府の手で選りすぐられた若くしてたくましく百五十青少年の魂の道場である。

日本人の指導者一名と、三名の支那人教官の下に、日本の軍隊生活を基調とした激しい集團訓練を受ける彼等の紅顔は希望に輝いてゐる。六ヶ月の訓練期間を終へると、直ちにそんれん、郷里に歸つて、新青年運動の指導者となり、各地に青年團を結成し、やがてはナチス・ドイツのヒットラー・ユーゲントを大陸支那に再現しやうとする——東亞青年層の大團結を促進する力強い第一歩である。



街頭行進へ

New eras are brought about under the leadership of youth. It is the youth of China, who, destined to guide the China of tomorrow, alone can save their country from the maladministration and oppression of the Kuomintang Government, and change it into a new nation, full of life and vigor.

The Greater Shanghai Young Men's Leaders Training Institute has been recently established in Shanghai, and as its name implies, it trains young men to act as leaders of Chinese youth in the work of national enlightenment. One hundred and fifty young men are at present enrolled at this institution where they are receiving strict training, mentally and physically. After six months' training, they return to their native provinces, where they form young men's organizations and institute a national youth movement under the slogan "Build up New China with Our Own Hands."



青年運動

BIG GAME HUNTING IN MANCHURIA

壯絶! 東満の猛獣狩



25X44

1935



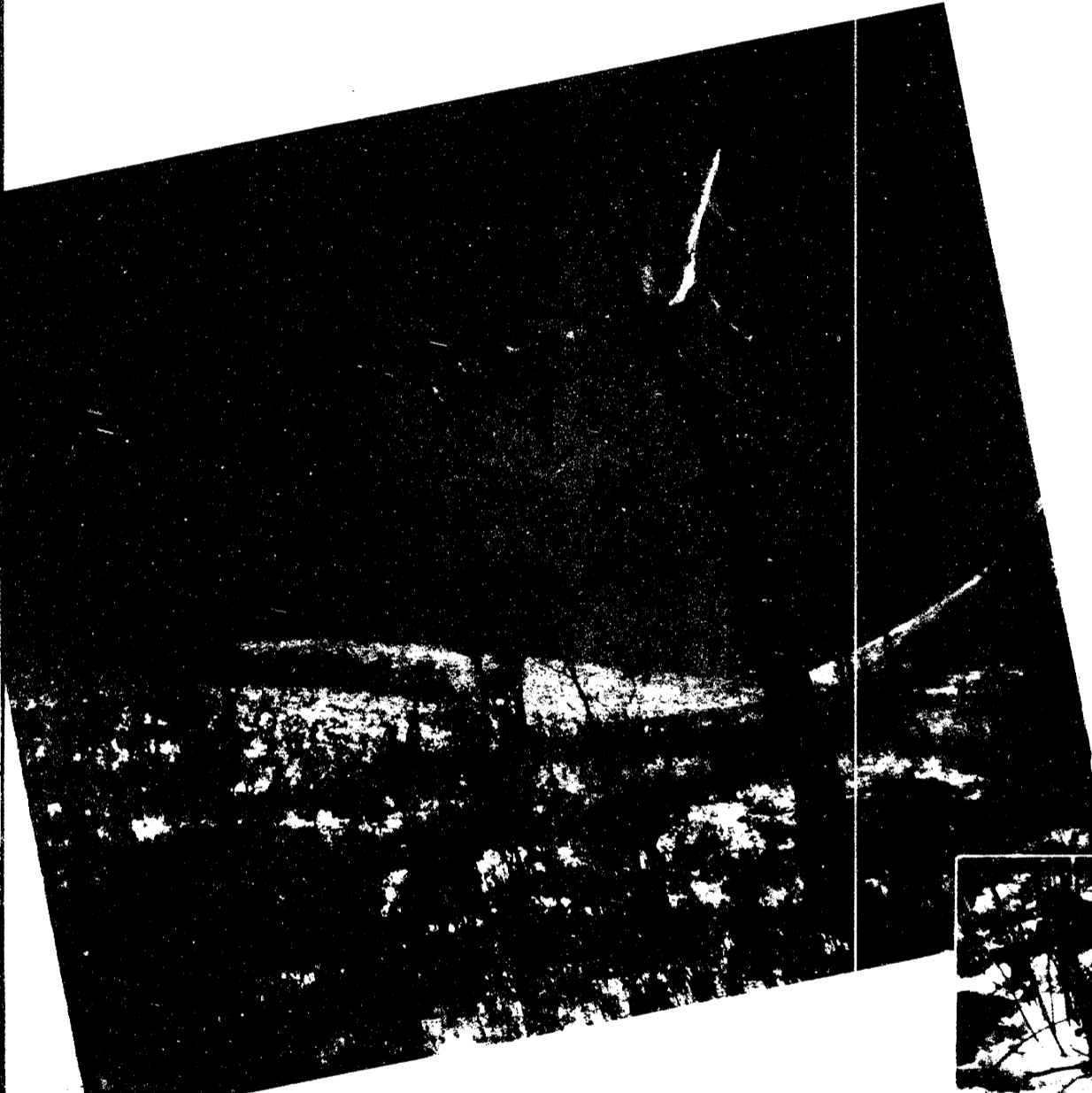
出 動



はりきる心を乗せて



神志



山 路

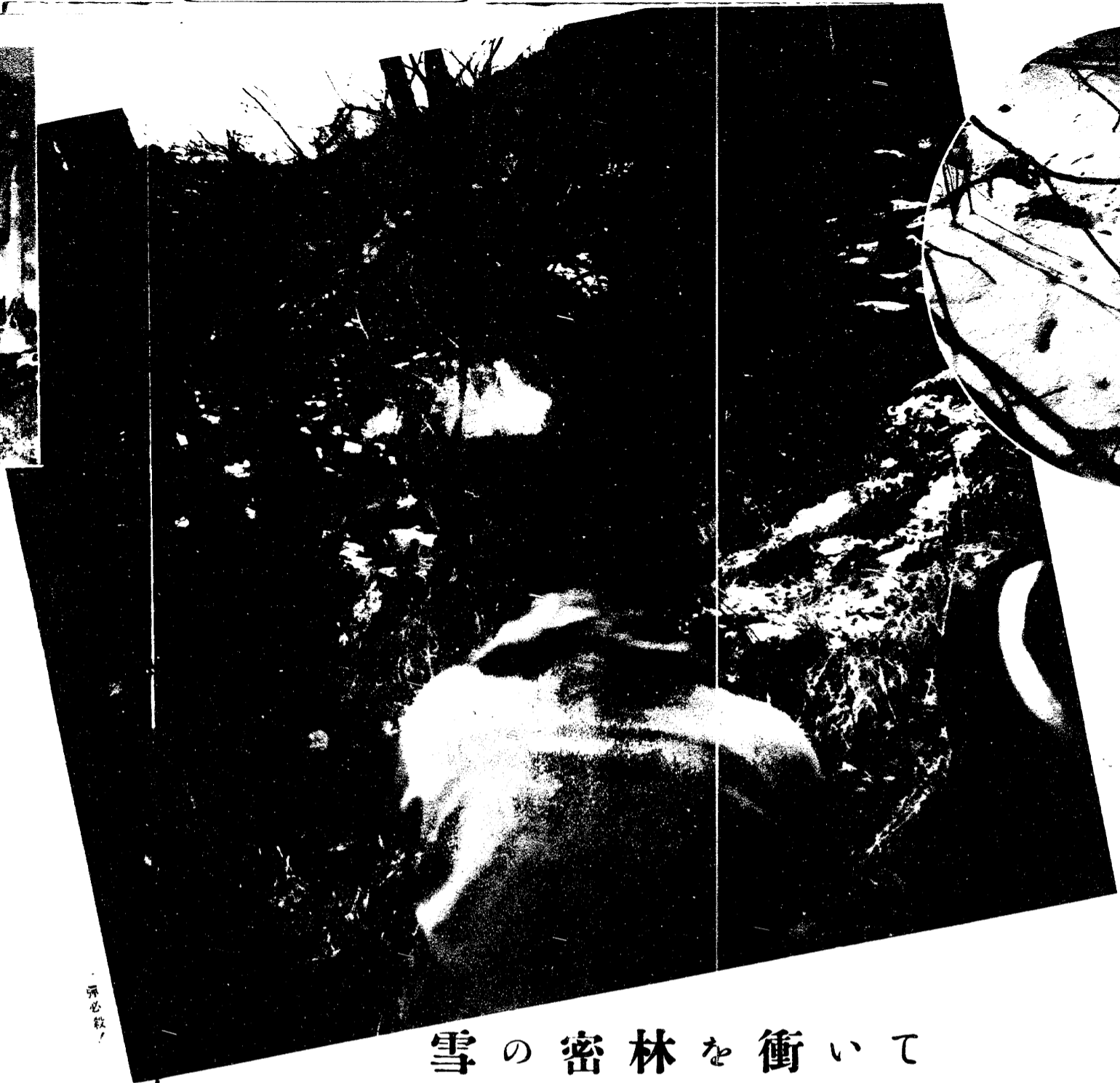


見事



25X

32X



足跡を追うて

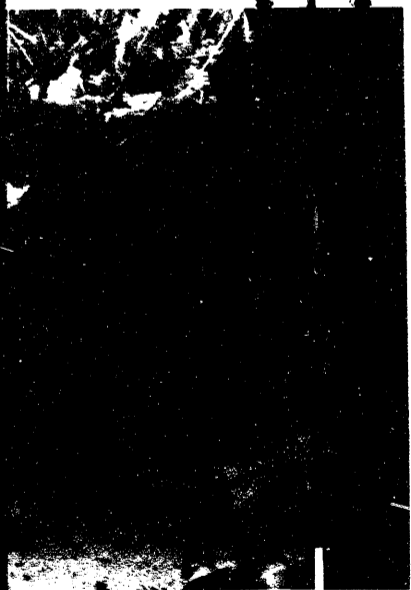
一歩必殺!

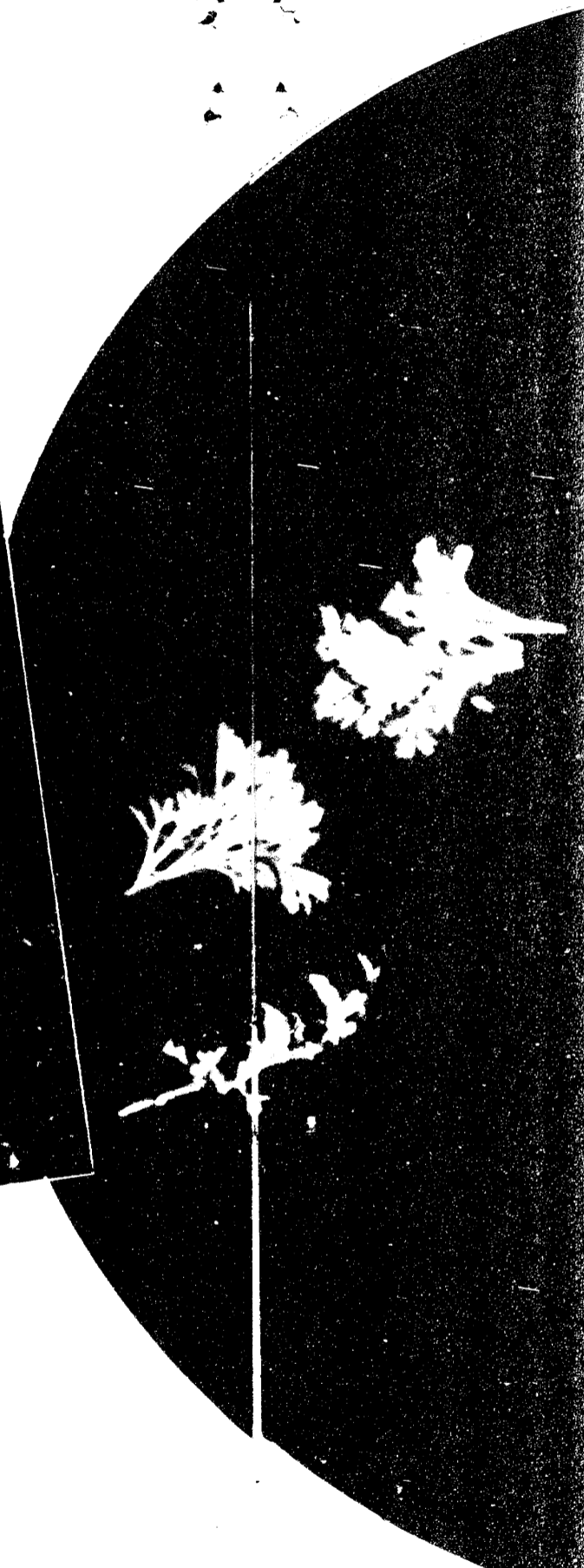
雪の密林を衝いて

スリルの連鎖

森の王者斃る

獲物の山



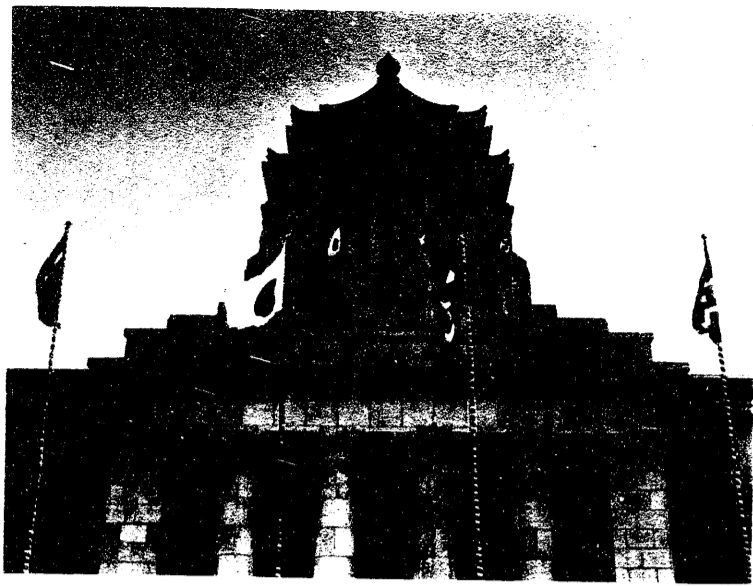


25 X

32 X

The arrival of spring.
春のひかり





TOPICS OF INTEREST

滿洲近事



防共協定加盟晴れの調印式

滿洲帝國が盟邦日獨伊三國の勸誘に應へて、亞歐防共陣に聯かしき一頁を加へる晴れの調印式は興亞の春風流る、二月二十四日國務院大講堂に於て、日本植田全權大使、伊太利コルテセ公使、獨逸ワグナー公使、滿洲張國務總理の四ヶ國代表會合の下に滞りなく終了した。緊張の顔・顔・顔——世界に呼びかくる曙の旗色と共に、歴史的感激の一瞬であつた。

SIGNING OF ANTI-RED PROTOCOL

The historic signing of the protocol for Manchoukuo's participation in the Anti-Comintern Agreement took place in the auditorium of the State Council Building in Hsinking on February 24 between the Manchoukuo plenipotentiary, Premier Chang Ching-hui, and the plenipotentiaries of Japan, Italy and Germany, Ambassador Kenkichi Uyeda, Minister Luigi Cortese and Minister Wilhelm Wagner, respectively.



滿鐵刀の神社奉獻

純滿洲産の富強鐵を原料に、獨特の電氣製鋼法により、純鐵の製造に成功した滿鐵では、更にスチームハンマーに依る日本月の近代的生产に凱歌を挙げた。滿鐵大連工場では新たに刀鍛所を設置してその本格的な製作を開始したが、之を記念し、皇軍の武運長久を祈願すべく、大連、奉天、新京の三神社に燦たる滿鐵刀を奉獻した。寫眞は新京神社に奉獻された滿鐵刀。

S. M. R. SWORDS PRESENTED

To commemorate the installation of new modern equipment for making swords at the Shakako Railway Workshops in Dairen, and to pray for the success of the Japanese Army, the South Manchuria Railway Company presented swords produced at the above workshops, to the Dairen, Mukden and Hsinking Shrines. The picture shows a priest of the Hsinking Shrine admiring the presented S.M.R. sword.

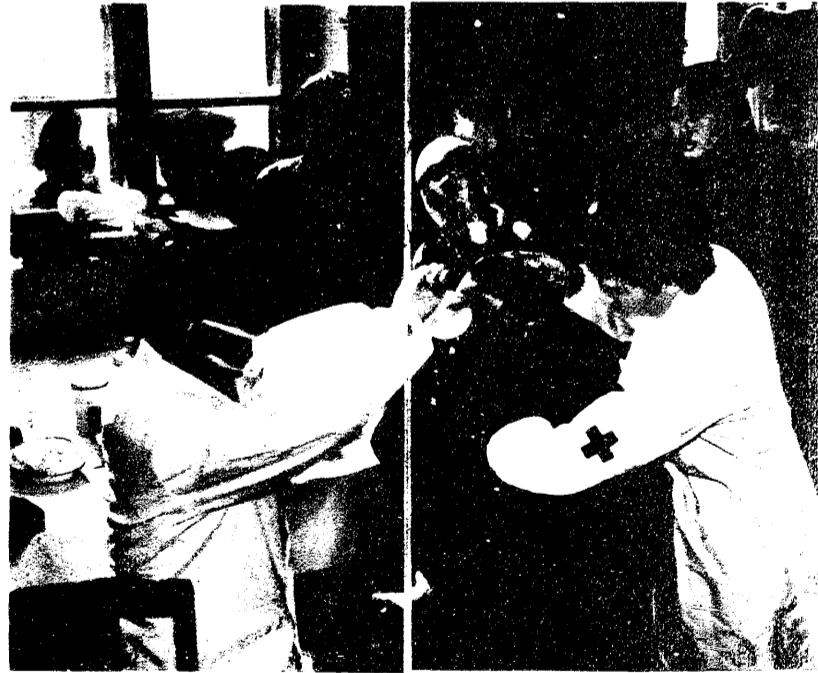
王道の恵みあまねく

協和會主催の下に全滿一齊に實施された建國時局の克服と東亞協同體基根の確立に邁進すべく活躍したが、第一日の互濟日を期して滿洲赤十字社は無料施料をなし貧しき者に樂土の恵みと與へる。

王道は理論ではない。温かい心、やさしい手、正しい導き！

RED CROSS GIVES FREE MEDICAL TREATMENT

On the first day of the Manchoukuo National Foundation Week, held out the country under the auspices of the Manchoukuo Concordia Association, the Manchuria Red Cross Society is a helping hand to the poor and giving free medical treatment.



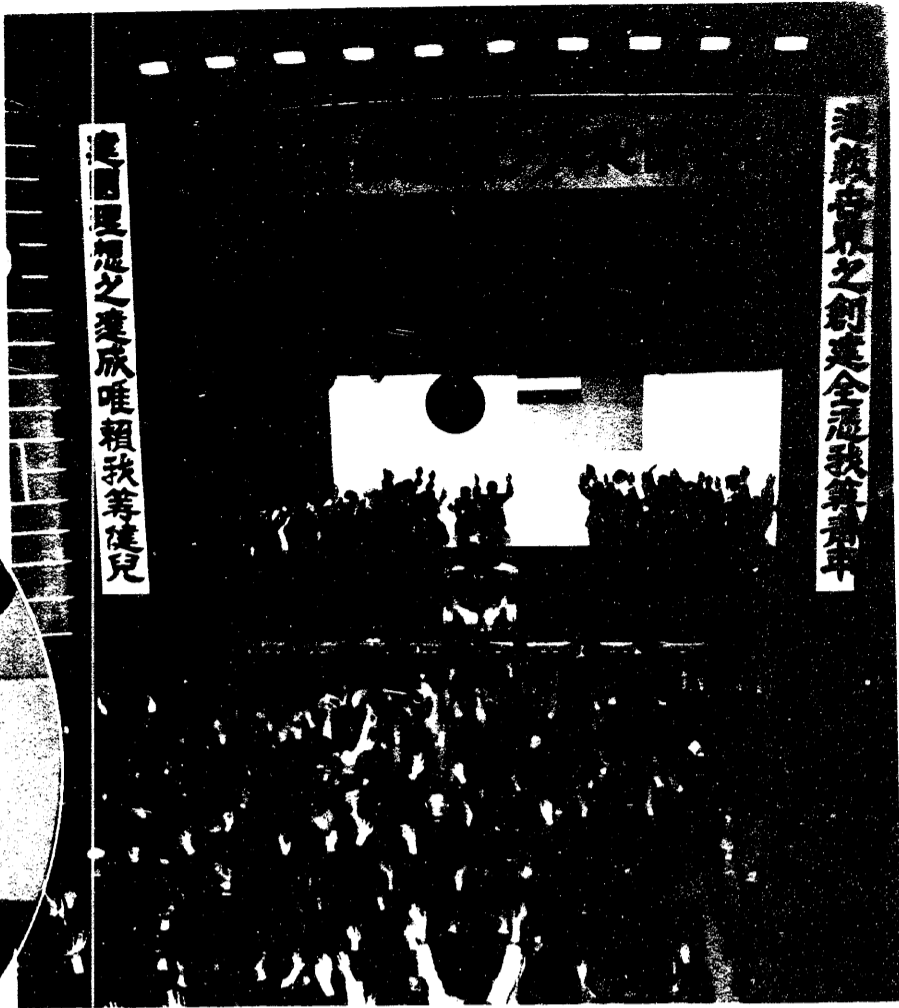
協和青少

國民再編成の國の伴節をとりしる綜合結成式は長、孫副本部長團長、三十名の下に嚴肅に其の集團結は、



協和青少年團綜合結成式

國民再編成の基礎組織たる協和青少年團の結成式は建國の佳節を卜して全滿一齊に舉行されたが、首都に於ける綜合結成式は三月一日協和會館に於て、橋本中央本部長、孫副本部長、宮澤民生部次長その他十二の協和青年團長、三十二の協和少年團長及び團員代表千五百名參集の下に厳肅に執行された。滿洲國の明日を擔ふ若き人々の集團結は、新興帝國に加へられた輝く明星である。



CONCORDIA YOUTH ORGANIZATION FORMED

The Manchoukuo Concordia Youth Organization was formally inaugurated at a ceremony held in the Concordia Hall in Hsinking on March 1, the seventh anniversary of the foundation of Manchoukuo, in the presence of a large gathering of high officials of the Government and the Concordia Association and representatives of regional Concordia youth organizations.

RED CROSS GIVES FREE MEDICAL TREATMENT

On the first day of the Manchoukuo National Foundation Week, held throughout the country under the auspices of the Manchoukuo Concordia Association, the Manchuria Red Cross Society extended a helping hand to the poor and sick by giving free medical treatment.

あまねく
全滿一齊に實施された建國
同體基礎の確立に邁進すべ
日の互濟日を期して滿洲赤
十字社に樂土の恵みを與へ
、そして

週間は、
く各方面
十字社で
たのであ
、そして



海を渡つて

唐獅子ローマへ

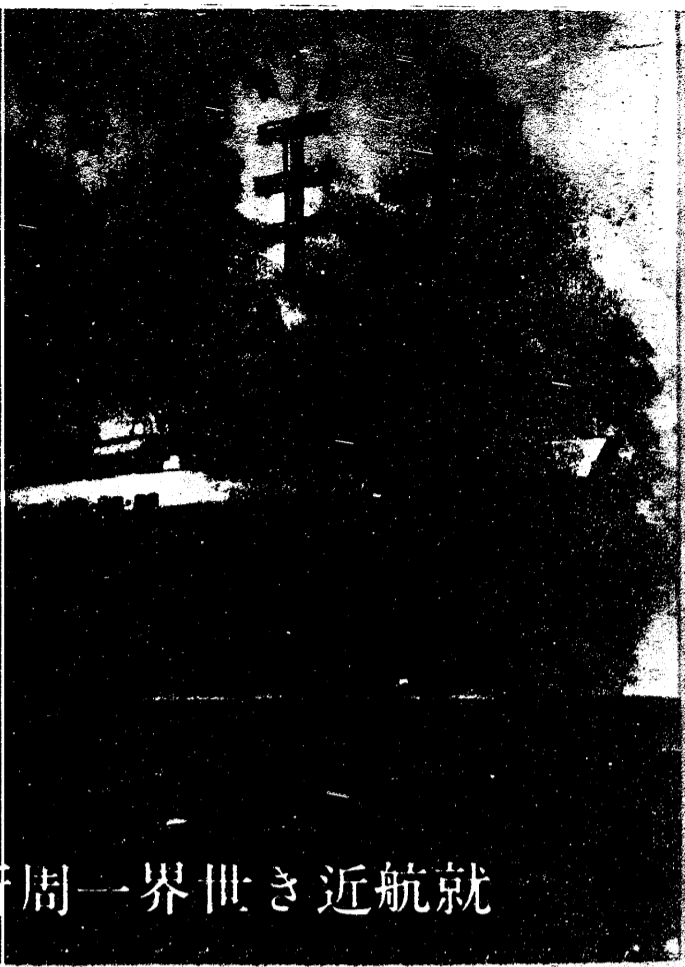
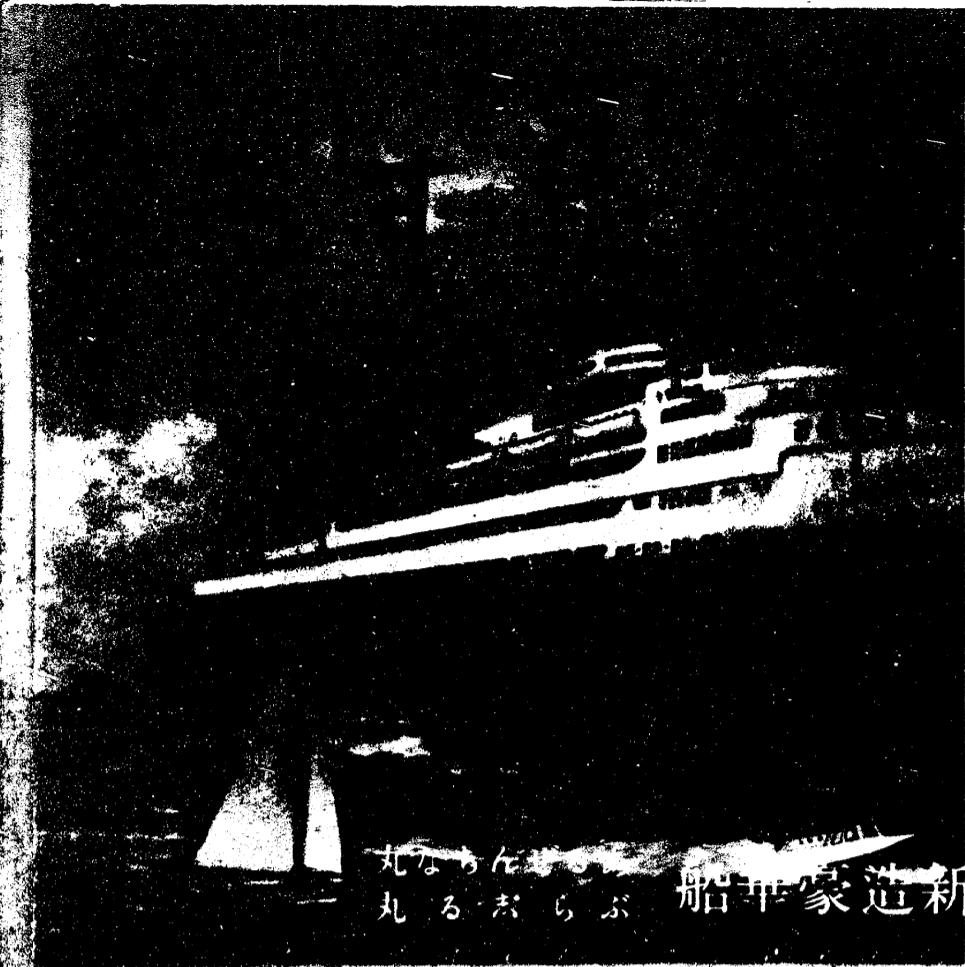
滿伊親善のシンボルとして昨春ローマ市から新京市へ贈られた牡狼の像の答禮使として今度は新京市から破邪顯正を象徵する獅子像を贈呈することになった。贈呈式は二月二十五日新京大同公園に於て、平新京市長コルナーゼ伊公使その他多數顯官の參列裡に盛大に舉行された。盟邦の首都ローマの一角に嚴然と居坐る唐獅子はたのもしくも精氣に溢れた姿であつた。

HSINKING'S GIFT TO ROME

The ceremony for the presentation of a stone statue of a laughing lion to the City of Rome by the Hsinking Special Municipality took place at the Tatung Park in the Manchoukuo capital on February 25 in the presence of the Mayor of Hsinking, Mr. Yu Ching-yuan, the Italian Minister to Manchoukuo, Signor Luigi Cortese, and other notables. The picture shows Minister Cortese admiring the gift, while in the background is the image of the She-Wolf presented by the citizens of Rome as their gift to Hsinking.



昭和十年七月二十五日第三種郵便物認可 満洲グラフ 第七卷 第四号 (通巻第五十七号) 昭和十四年四月



丸ならん 船華豪造新周一界世き近航就
丸るおらぶ

ぐ な つ を 満 日

5.9.24



一ダンラベ等一丸龍黒

堂食等一丸緑黒

船 商 阪 大

<p>大坂商船会社</p> <p>本社 大坂市東区南船場</p> <p>支店 東京、神戶、横濱、名古屋、大阪、京都、神戸、長崎、福岡、北九州、仙台、青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京都、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、和歌山、奈良、徳島、香川、高松、岡山、広島、山口、徳島、香川、高松、岡山、広島、山口、徳島、香川、高松、岡山、広島、山口</p>	<p>大坂商船会社</p> <p>本社 大坂市東区南船場</p> <p>支店 東京、神戶、横濱、名古屋、大阪、京都、神戸、長崎、福岡、北九州、仙台、青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京都、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、和歌山、奈良、徳島、香川、高松、岡山、広島、山口、徳島、香川、高松、岡山、広島、山口</p>
---	---

SOUTH MARIANA

25X111

32X111